



ワイズメンズクラブ 国際協会 西日本区

京都部部報

2号 / 2024-2025年度版 BULLETIN



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9 JAPAN WEST
ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

京都部 部長主題

あなたが主役!!! It's up to you ワイズライフのお祭り騒ぎ

京都部部長

山下 大輔 (京都トップス)

西日本区理事 主題

「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
"Connecting Local to the World with YMCA"

西日本区理事

鵜丹谷 剛 (神戸)

スローガン

「楽しもうフェロウシップをポジティブに」
"Enjoy positively our fellowship"

国際会長 主題

"Together for a Better World" 「より良い世界のために、共に」

国際会長

A・シャナヴァスカーン
(インド)

スローガン

"Arise and Shine" 「立ち上がろう、そして輝こう」

アジア太平洋地域会長 主題

"Make a Great Impact" 「大きなインパクトを起こそう」

アジア太平洋地域会長

Joan Wong

ジョウン・ウオン (台湾)

スローガン

"Be Bold and Serve by Faith" 「大胆に、信念を持って奉仕しよう」

皆様のご支援に感謝申し上げるとともに、
皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
下半期もどうぞよろしくお願い申し上げます。



京都部部長 山下 大輔

(京都トップスワイズメンズクラブ)

日頃より、ワイズメンズクラブ京都部の活動に対して温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度の上半期を無事に終えることができましたこと、ひとえに皆さまのお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

上半期を振り返りますと、京都部会にワイズデーなど、多くの方々と交流を深めながら、皆様のご協力の元、有意義な活動を展開することができました。また、今期では京都部メンバー600名を目指して各クラブ一丸となって頂いている事に喜んでおります。

一方で、活動の中でいくつかの課題や改善すべき点も明らかになりました。これらについては、役員・会員の皆さまと協力しながら解決に向けた取り組みを進めてまいります。

下半期においては、引き続きメンバー増強・メンバー交流を掲げ、地域社会との連携をさらに深めるとともに、会員相互の交流を一層促進してまいります。皆さまの積極的なご参加とご協力を心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、改めてこれまでのご支援に感謝申し上げるとともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。下半期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

■上半期を終えて 部役員



次期部長 隠塚 功
京都パレスワイズメンズクラブ

次期部長に就任させていただき半年が経過しました。私の場合、次期部長を迎えるまでの準備期間が大変短く、ほとんど白紙状態で今期を迎えることとなりました。そのため、慣れない私に対しご理解とご協力いただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。今期、山下大輔部長は京都部を盛り上げてこられ、多くの皆さんが上半期を楽しく過ごされたことと思います。この上半期の活動に参加しながら、次期の京都部についても考えてまいりました。既に次期の主題、方針、計画については次期役員研修会で発表させていただいていますが、これを京都部の皆さんに如何に理解していただき、形にしていくのか、下半期では部役員や主査の皆さんと協議しながらまとめていきたいと思っております。とは言え、29期はまだ半年あります。私も部役員の一員として、山下部長を盛り立てながら楽しい京都部へのお手伝いをさせていただきます。引き続き宜しくお願い致します。



直前部長 武村 松一
京都ウイングワイズメンズクラブ

直前部長としての半期が無事過ぎました。昨年のことを思えばなんと充実していたことか。京都部役員会に出席するときも、何ら準備することもなく時間通りに YMCA まで行けば役割全うでした。ただ一つだけ不安だったのが役員会で「去年はどうされてましたか？」と聞かれること。部長時にはすべてキャビネットに任せておりましたので覚えてないことがほとんど。石倉監事の助け舟がどれだけ力強かったか。ありがとうございました。後期もよろしく願いいたします。山下部長に関しては、素晴らしくリーダーシップを発揮されて充実した半期だったと思います。役割も前期に比べれば落ち着いてきますので、のびのびと職務をこなせると思っています。そして半年後の解放感を夢見て後期も張り切っていたきたいと思います。がんばれ～山下部長！



幹事 石倉 尚
京都キャピタルワイズメンズクラブ

上半期が過ぎ振り返ると、次期部長として京都部の役員となり3年と半年が過ぎました。短いようで～と昔のことに思えます。次期部長の時は、中村部長期の事業や役員会の進め方を学ばなければとタイムリミットが徐々に迫って来る焦りを感じ、現部長期は、三役会、役員会の準備と多くの事業に参加し時間に追われ瞬間に過ぎていきました。武村部長へ引き継いだ後は「あ～去年はこうやったなあ・・・」と思い更に、今期の山下部長期は「あれ？どうしてたっけ・・・」と遠い昔のように感じています。歴代の京都部部長もきっと同じように過ごされたのかと思われそうです。私の時に大変苦労した次々期部長選出も無事に決まり、今後どうなるのかと思案していたメネット会についても今期、アンケートをとることで方向性が出てくるのではと安堵しています。あと半年、安心して京都部監事としての余生？を過ごしたいと思っております。



統括担当主事 藤尾 実
京都 YMCA

昨年7月に始まったワイズメンズクラブ京都部・山下部長期も、早いもので上半期が過ぎました。今期の部長標語として掲げられた「あなたが主役 !!! It's up to you! ワイズライフのお祭り騒ぎ」には、メンバー一人ひとりが大切であり、なくてはならない存在であるという思いが込められています。その思いは、9月に開催された京都部部会にも隅々まで行き渡っていました。11月に開催されたワイズメンズクラブ京都部主催の「ワイズデー」は、ワイズメンズクラブの事業を広くアピールするとともに、能登半島被災地支援や YMCA の活動を市民の皆様にお伝えする貴重な機会となりました。また、リトリートセンターの維持管理ワークや YMCA の各種寄付金へのご協力など、京都 YMCA の諸活動に多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。現在、京都 YMCA では「地域から必要とされる存在になる」ことを目指し、2024年度に中期計画を策定し、2026年度までの社会課題への取り組みを進めていく予定です。この取り組みをワイズメンズクラブのメンバーの皆様と共に進めてまいりたいと考えております。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



書記 河原 正浩
京都トップスワイズメンズクラブ

期首からあっという間に上半期が過ぎ、京都部は多くの成果を収める事が出来ました。皆様のご協力と熱意のおかげでさまざまなイベント・プロジェクトを実施し充実した時を過ごす事が出来たこと心より感謝申し上げます。これからの下半期も、さらに成長し続けるためにも前に向かって進んでまいります。皆様のご意見やアイデアも大変重要ですので気楽に部の方へお寄せ頂ければ幸いです。今後とも京都部をよろしく願いいたします。下半期も引き続き楽しい活動と実り多い時を共に過ごしましょう。



書記 河原 信也
京都トップスワイズメンズクラブ

京都部ワイズメンの皆様、お世話になっております。皆様のお力添えをいただいたおかげで、無事半期を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。京都部書記として、これまでにない経験を多くさせていただき、あっという間の半年間で、1番印象に残っているのは、京都部部会での評議会報告で壇上に上がったことです。驚きと緊張がありましたが、良い思い出になりました。下半期も気を緩めることなく努めて参りますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。



会計 加藤 信一
京都トップスワイズメンズクラブ

山下京都部部長も皆様のおかげで無事上半期を終えることができました。この半年間、大きいイベントとしては京都部部会、ワイズデーがありました。京都部部会も盛大に盛り上がり、ワイズデーも雨の心配もありましたが、晴天に恵まれ、無事開催できました。ワイズデー協賛金（能登半島災害支援募金）では皆様の協力のおかげ目標額以上に集まりありがとうございました。下半期も京都部会計としてしっかりと業務にあたりたいと思いますので、下半期の部費の請求書が届きましたら、記載期日までに納付頂きますようお願いいたします。どうぞ下半期も引きつづき、よろしくをお願いいたします。



会計 舞田 智之
京都トップスワイズメンズクラブ

この半年間、部としては多くの事業をこなしてきました。ワイズデーや懇談会などは山下期の特徴である抜群のチームワークで、メンバー間の連携や関係性を構築し、事業自体のクオリティーも高く、皆様も楽しんでいただけたのではないかと感じております。

会計といたしましては、事業の予算の確認などを確実にやりたいと思っております。

残すところ半分となりましたが、これからも京都部の役員やキャビネットの連携をしっかりとって、楽しくしっかり謙虚に事業を行いたいと思っておりますので皆様よろしくをお願いいたします。



事務局長 相田 広継
京都トップスワイズメンズクラブ

上半期は皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。各事業の懇談会や京都部部会、ワイズデー等々、上半期は盛沢山の行事にも関わらず、準備から当日まで皆様のご協力がなければやり遂げられなかったことばかりだと実感しています。

僕自身、事務局長の立場ではありますが、わからないことばかりでご迷惑をお掛けすることもあったかと思えます。ですが、心優しい各クラブの会長さんやメール員の皆様と連絡を取り合う中で、繋がりも出来、楽しくワイズライフが出来たと感じています。

山下部長の掲げた「ワイズライフのお祭り騒ぎ」は京都部全体に浸透すると共に、ワイズメン一人ひとりの心にも浸透し、ワクワクする気持ちにさせてくれたのではないかと思います。

残り下半期もワクワクする気持ちでワイズライフを楽しみましょう！！

皆様、引き続きよろしくお願い致します。

■上半期を終えて 事業主査



主題 素晴らしい未来に向かって
～YYYの協働～

YMCA サービス・ユース事業主査
西村 和真
京都洛中ワイズメンズクラブ

在京クラブの皆様におかれましては、日頃より京都部の YMCA サービス・ユース事業にご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。今期始まる前の4月26日に京都部 YMCA サービス・ユース事業懇談会を開催させていただき、今期の主査方針・京都 YMCA の事業計画を発表させていただきました。またこの懇談会において各クラブの Y サ・ユース事業計画をお聞きすることが出来ました。

私の副題にあります～ YYY の協働～をどのような形で出来るのか？各クラブの皆様へ知恵をお借りしながら前期活動してきました。クラブ例会においては、リーダーを交えてのディスカッションの機会を与えていただくこともありました。また、YMCA リーダーの会議に参加させていただき11月10日に開催した「京都部ワイズデー」の中でリーダーたちと一つのブース(丸太でキーホルダー作り)を協働することが出来ました。この協働を通して、内外に京都 YMCA とワイズメンズクラブを知っていただくことも出来たと思っております。まだ今期半分が過ぎたところです。後期もまだまだたくさんの事業があります。主査として出来ることを全うするのは勿論のことですが、次期主査への引継ぎもしっかりと行っていきたいと思っております。各クラブメンバーの皆様、後期もどうぞよろしくお願い申し上げます。



主題 地域奉仕と環境の事を考え
～ワイズをもっと愉しもう～

地域奉仕・環境事業主査
堂脇 武
京都 ZERO ワイズメンズクラブ

地域奉仕・環境事業主査を拝命してからはや半年が経ちました。当初、京都部の役員が務まるのかなあ？と不安と戸惑いの中からのスタートでしたが、役員会や部長公式訪問の随行などを経験させて頂き、様々なところで話をさせて頂く事も増え、主査としての役割や責任感なども芽生えて来ました。また私自身の事もたくさんのメンバーさんに知って頂ける様になりました。上半期の一代イベントはなんと言ってもワイズデーです。CS 主査としての大事業を成功させる為、幾度となく実行委員会を開催し、各クラブのメンバーさんの協力の元、進める事が出来ました。当日の天候も心配でしたが、京都部役員さんはじめ、ワイズメンバーの力を結集し、山下部長の「みんなが主役、ワイズライフのお祭り騒ぎ」をカタチにできたのではないかと感じています。大盛況の中無事に終える事が出来、本当にありがとうございました。ホット ^_^ しております。次は下半期2月16日のチャリティーボーリングに向け、頑張っていきたいと思っておりますので、皆様引き続き宜しくお願い致します。



主 題 ASK ONE!
～声かけよう、知ってもらおう、集まろう～

EMC 事業主査
松島 正雄
京都ウイングワイズメンズクラブ

皆様、いつも EMC 事業にご尽力いただき誠にありがとうございます。
早いもので EMC 主査を拝命しまして半期が経ちました。初めての京都部での重席でしたので私に務まるのか不安でしたが、京都部の役員の皆様を支えられながら私にとっては勉強になり楽しく充実した半年となりました。
EMC 主査としての役割を全うできた半年間かと言うと分かりませんが、私なりに京都部会員 600 名に向けて模索し頑張ってきました。また、EMC 懇談会に続き、EMC シンポジウムには沢山の方にご参加いただき有難うございました。皆様の会員増強への意識の高さを実感でき更に頑張ろうと思えた懇談会になりました。そして部長公式訪問の随行、各クラブ様の入会式へ参加させていただき、私なりのクラブへの想いをお伝えさせていただきました。結果、皆様の頑張りのおかげで多くの方に入会をしてもらいました。が、退会される方も多く目標である京都 600 人には遠く、改めて目標の大きさを痛感しております。正直、主査として不安もあります、京都部 18 クラブの皆様が会員 600 名に向けて頑張ってくれている姿に勇気づけられています。そして今一度、私にできることがないか考えております。次回は入会歴の浅いメンバーとそのスポンサーの方達を中心に懇談会を開き、新しいメンバーが新しい方たちを誘ってもらえるよう皆で話し合いたいと思っております。と言うのも、会歴の長いメンバーの方は既に入会してくれるような人にはお誘いしてしまっていると思いますので、まだ入会されて間もないメンバーの方の力を借りて、会員 600 人に向けてチャレンジしたいと思っております。最後になりますが、残り半年間を EMC 主査として出来ることを全うしたいと思っておりますので、どうぞ皆様お力添えをよろしくお願いしたいと思います。
部長の主題である『あなたが主役！ It's, up to you!』ワイズライフのお祭り騒ぎを楽しみましょう。



主 題 交流(interaction)で
具現化するワイズダム
(ワイズの世界、ワイズ運動の状況)

国際・交流事業主査
角谷 多喜治
京都ウエストワイズメンズクラブ

先ずはこの半年間、在京各クラブの会長を始めとするメンバーの皆様、そして京都部部長を初めとするキャビネットの皆様には、国際・交流事業主査としての「素晴らしいワイズ活動の機会」を頂いたことを心から感謝申し上げます。国際・交流事業主査として「何をどう行うべきか」については自身の理解不足の為、手探りで進めていくこととなりましたが、多数の諸先輩方の活動を参考にさせて頂き、京都部のワイズメンの皆様方の交流活動の推進を最優先に考えて、そして各クラブの会長を始めとするメンバーの皆様が 1 年間、充実した交流活動を楽しんで頂けるよう努められたような気がします。そして、京都部山下部長及び三役の皆様の下、各主査・PR 委員長の皆様と共にそして何よりも京都部ワイズメンの皆様を支えられて「一年間の活動方針」を、できる限り円滑に実行出来るよう活動し、又自身も精一杯楽しむことにより改めてワイズ活動の素晴らしさを実感することが出来ました。どうぞ皆様、残り半年間も一緒に山下部長期を楽しみましょう！ そして次期も含めた京都部の未来の為に…残り半年間を過ごしましょう！



主 題 未来を見据えてチャレンジ！
～ Next Decade ～

PR 委員長
服部 洋典
京都パレスワイズメンズクラブ

お役目を頂いて、準備期間を含めると 1 年が経とうとしています。
まずは、このような経験をさせて頂きました、京都部全メンバーに感謝致します。
これまで、井の中から外を覗く程度の事はやってきたつもりだったのですが、いざ出てみると、それまで見ていた景色と違うものを多く見ること、経験することができました。親睦から始まる交流、そしてそれが自身の考え方や奉仕の幅を広げていく。これを実感した 1 年でした。評議会や懇談会、部長公式訪問、クラブを跨いだ懇親会など、積極的に参加する事でクラブ毎のやり方や考え方を知り、色々な人と交流を持つことが出来ました。そしてその違った考え方などを、自身のクラブ活動にフィードバックしていく。こういった経験が、凝り固まった考え方をせず広い視野で物事を考える認識に繋がっていくものと思いました。
今期、PR 委員会としては、新たな広報手法として京都部インスタグラムを開設し、広報活動を行ってまいりました。天候による事業の中止などもあり、掲載イベントは 13 件でした。フォロワーもなんとか 500 名を超えることができ、ワイズ以外の方にも「いいね！」を頂けていることから、一つの広報手段になっているのではないかと実感しております。下半期についても、まだまだイベントはありますので、これを使って広報活動を行ない、京都部としての未来の広報について考えていければと思います。
残り半年になりますが、引続き、どうぞ、よろしくお願い致します。

第29期 京都部 photography / 京都部 部会



■上半期を終えて 各クラブ会長



主題

Find and share each other's strength together

副題

いいところを見つけ合おう

京都ワイズメンズクラブ
会長 竹花 佑磨

京都クラブ竹花と申します。

会長になり、半年が経過しました。前半は「いいところをみつけあおう（通年）」と「クラブ内の体制強化」を主に進めてまいりました。期初から、様々なトラブルがあり大変でしたが、クラブの全メンバーに助けられ前向きに取り組むをしてまいりました。まずはできることから一つずつ行っていこうとメンバー全員で進めております。メンバー減については EMC 委員長をはじめ、メンバー全員が危機感をもっております。8月納涼例会には2名のゲストをお招きし、意識が高まっております。今期中に5名の入会者を目指すべく行動しております。

ファンドでは、とうもろこしファンドやじゃがいもファンドを例年通り行いました。3本柱にするべくメインとなるファンド事業を継続して探しております。CS 事業ではワイズデーに参加し、能登半島災害義援金を寄付いたしました。Y サユース事業ではオータムフェスタに出店し豚まんを提供しました。

国際交流では、三島クラブの訪問が出来ていないので後期2～4月の間で訪問予定です。

下半期は、他クラブとの交流や新メンバーを増やすべくクラブ全員で意識を持ち行動に移していこうと考えております。皆様今後ともよろしくお願いたします。



主題

本質を探究しよう

副題

ともに成長しよう

京都パレスワイズメンズクラブ
会長 谷口 龍一

私が就任時に掲げた会長方針が「本質の探究」でした。パレスクラブとしての活動を進める中で、私たちは多くの選択肢に直面します。その際、常に「この活動の本質は何か」「私たちが本当に大切にすべきことは何か」を問い直す姿勢を忘れないことが重要であると考えたからです。事業の目的を明確化し、メンバーがクラブの価値を改めて感じられるような内容にし、また本質的な価値の見直しを進める取り組みをしてまいりました。その結果、新たな可能性が生まれました。

下半期では「本質の探究」をクラブ全体に十分に浸透させ、より多くの会員にとっての行動指針とするには、さらに努力と工夫が必要であると感じています。また、入会歴の浅いメンバーとの連携や、彼らがより積極的に関与できる仕組みを作ることについても注力するつもりです。新たな取り組みを通じて、「本質の探究」に基づいた活動が少しずつ成果を実感できたことは私にとって大きな励みとなりました。

最後になりますが、半年間を通じて私が感じたのは、メンバーの皆様一人ひとりの熱意と支えの大きさです。パレスクラブが持つポテンシャルは計り知れません。これからも、全員が一丸となって活動を進めてまいります。



主題

The 交流

副題

Go for it
～いまを存分に生きる～

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長 中野 かおる

会長職に就いて半年経ちました。気がつけばあっという間でした。

ウエストクラブは嬉しいことに前期に4名の入会者を迎えることができました。後期も目標達成へ向けて、EMC 委員長とタッグを組んで頑張ります。7月には牧野ワイズを偲ぶ会、8月にはパレスクラブ、エイブルクラブとの合同例会を開催いたしました。また今期は期首にかかげた「The 交流」の主題のもと、メンバーひとり1クラブは必ず参加というルールで、京都の「他クラブ訪問&45周年記念PR」イベントを4ヶ月にわたって開催しました。他クラブの皆様には、大事な例会のお時間を割いてPRさせていただけたこと、ウエストメンバーをあたたく迎えていただけたことに感謝いたします。合同例会開催クラブを除く13クラブの訪問をいたしました。他クラブの見聞した素敵なお話は、メンバーと共有する時間も取りました。今後のウエストクラブがより良くなるためのイベントができたと思います。そして、後期はいよいよ45周年記念例会が本格始動します。大きいことをやる時に、いろいろな意見があっても当然です。でも同じ方向を向いて歩いていくためにはどうしたらいいのか、論破することを目的とするのではなく、否定するなら代替案を提案するなどの思いやり、そこに愛があるのかを発言する前に考えることができるのがワイズメンとして、人間としての成長だと考えています。自分の足りないところが嫌というほど見えてきたこの頃ではございますが、ウエストクラブが運営できているのは頼りにしている三役の皆さん、そして委員長の皆さん、メンバーの皆さんのおかげです。心から感謝しております。後期も会長として成長するべく、精一杯頑張る所存です。



主題

目の前にいる人を幸せにする

副題

一人の幸せがみんなの幸せ

京都めいぷるワイズメンズクラブ
会長 山田 登喜雄

上半期 活動は充実した運びとなりました。メンバー一人一人が本当に楽しそうにワイズ活動を行えたと思います。特に積慶園や西陣会に皆が協力し活動できた事、そしてまだまだ出来る事があると感じさせられた上半期でした。また会長になる事により、ワイズメンズクラブの事をより多く知る事が出来ました。そして他クラブの皆様とも親しくなれ、より一層楽しめる様になれたと思います。

下半期は楽しいワイズメンズクラブ活動をより多くの方に伝え、新メンバー増強に力を入れて参ります。皆が楽しく、幸せな気持ちでワイズ活動が出来る様に頑張らせて頂きます。残り半分となりましたが、精一杯行わせて頂きます。



主題

『原点を共有し、未来を紡ぐ』

京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長 左近 宏崇

キャピタルクラブの42期上半期が終わりました。
今期の個人的なテーマは「会歴の浅いメンバーに役員を経験頂く」です。会長を受けるにあたって、キャピタルの組織を見渡した時に会歴の構成がやや歪だなと感じていました。会長就任前に5～6年以上の委員長三役経験がある方がスムーズと思いますが、中堅？がやや薄く5年後10年後そこが少し不安だなと。
上期は、役員になって頂いた会歴の浅いメンバーのそれぞれが能力や個性を発揮し、それを先輩方が後ろからフォローする形でキャピタルを盛り上げてもらっていることに感謝しつつ、頼もしく思っております。

<Yサ関連>

リトセン夏季準備ワーク・国際協力街頭募金・リトセンオータムフェスタ・わんぱくチャレンジクラブ・クリスマスキャロルナイトほか各種支援金

<CS 関連>

スペシャルオリックス京都への協力・京都部ワイズデー・ふれあい広場ほか各献金

<ドライバー関連>

毎月2回の例会、計12回

<交流関連>

DBC 東京クラブとの交流、新たな DBC 締結へ向けての調整、IBC 台北クラブの70周年記念例会へ向けての連絡調整ほか

<ファンド関連>

目標達成に向け順調に活動頂いております。

<ブリテン関連>

毎月のブリテン発行及びWEB版への移行を視野に模索頂いております。

<EMC 関連>

新入2名。新入オリエンテーション・貴船鞍馬トレッキング・新入歓迎会・ゴルフコンペ・忘年会ほか各献金

<メネット会>

例会・各事業への参加・メネット懇親会・メネットファンド

一回きりのキャピタルクラブの会長、残り半年も普段の忙しい日々の中から離れて、気心の知れたメンバーと過ごすクラブの醍醐味を楽しみながらクラブ事業を進めていき、次期・次々期にバトンを繋げたいと思います。



主題

楽しみながら行動しよう！

副題

Have fun doing it!!

京都プリンスワイズメンズクラブ
会長 岸 裕也

上半期を振り返ると、会長期を楽しんでいると同時に、あっという間に過ぎていったように感じます。当期早々よりファンド事業である、スイカファンドでは他クラブからも多くのご協力もあり、過去最高の益金をあげることができました。ありがとうございました。8月第二例会をお盆期間でお休みした代わりに、以前ゲストスピーカーとして、京都パープルサンガ伊藤副会長にお越しいただいたご縁にて、EMC 主導の有志メンバーを集めて、サンガスタジアムへ、京都サンガ応援ツアーを企画しました。9月には、山下部長期の京都部会において当クラブが誇る2名、アカデミー賞では今西ワイズに登壇してもらい、素人名人会では西村ワイズによるリサイタルを披露してもらい、とても思い出深いものとなりました。また12月第二例会のクリスマス例会では、73名（うち、子ども26名）の参加となり、クラブメンバー、メネット、コメントを含め、多くのゲスト、そのファミリーが集まり、楽しんでいただくことができたのではないかと考えております。

下半期では当クラブの継続事業であるユーススポーツフェスティバルを5月25日に開催する予定で企画しており、メンバーでの一致団結のうえ、成功できるようにと考えております。クラブメンバーは現在18名であり、上半期1名増員となる中村ワイズの入会式を行うことができました。今のところメンバー増員目標の人数には達していませんが、下半期は三役を中心に、例会の満足度及び充実力を入れて、さらに魅力あるクラブ作りを目指したいと思っております。



主題

志をもって例会に参加しワイズライフを楽しもう。

京都ウイングワイズメンズクラブ
会長 青倉 国土

会長就任までの準備期間も数えますと、もう半期というより、まだ半期という気持ちが勝るような気がします。7月、定期総会を無事に終えることができ、後は粛々と例会に参加し、黙々と事業をこなしていくのだと、それだけを考えてやってきました。ただ、例会での会長挨拶ではもしかすると野球の話が多めだったかもしれないと反省しています。青い空と白い雲のキャンプでは、流しそうめんや気球を前にあふれる笑顔の子ども達を見ることができましたし、オータムフェスタは11月だとは思えない暖かさで、天ぷらうどんの売れ行きが少し残念ではありましたが無事終えることができました。この後12月クリスマス例会、年が明けましたら半期総会、2月には新しく事業に入れた大焚火フェスタもあります。大焚火フェスタは兄弟クラブのトゥービー、ZERO、ブラッククラブとの共同事業になります。残る事業は少なくなってきましたし、例会はあと12回しかありません。その中で、まだまだ自分の思いを伝えていきたいと思っていますし、それを聞いてくれる仲間を、そして一緒に活動してくれる仲間を、新しい仲間を増やし、メンバー数50人にする為の努力を惜しんではいけないと改めて思います。残り半期、各委員長が動きやすいようにする事も会長の役割だと思っていますので、そこも含め頑張っていきます。



主題 **新メンバーと共に前進**

京都洛中ワイズメンズクラブ
会長 **上原 智也**

洛中クラブの会長として 早っ という思い やっとなんという思い の両方が入り混じり上半期が過ぎております。人前で喋ること、また今までの勉強不足を克服しようと半年頑張ってきましたが、まだまだ克服出来ておりません！下半期も継続であります。この半年、何とかやって来られたのも、私の出来の悪さを解ってくれているメンバー全員がフォローしてくれているおかげで、ここまでやってこれています。会長主題であります、「新メンバーと共に前進」の通り、新メンバーに越されないようにワイズについて勉強中であります。事業の方はリトセン開設ワークに始まり、8月はウェルクラブさんとの合同納涼例会、9月は京都部部会を終え28.29日と富士五湖クラブとの富士山例会へ行って来ました。10月はワイズポテト、11月はワイズデー オータムフェスタ(ポップコーン出店)と頑張ってきました。残り半年、メンバー全員にフォローして頂くことに変わりはありませんが、最高でも最低でも現状維持が出来るように頑張りたいと思いますので、皆様にご指導の程よろしくお願い致します。



主題 **「覚醒エイブル未来に向けて」**

副題 **「事業参加で親睦を」**

京都エイブルワイズメンズクラブ
会長 **上澤 正廣**

2025年2月でエイブルクラブ設立35周年を迎える年度の年に3度目の会長を務めることとなりました。一昨年から2024年12月で13名から27名のメンバー数となりました。35周年で30名のメンバー数を目標としました。新しく入会したメンバーが同じ年代(50歳前後)の人たちに勢力的にお声掛けをして、ワイズメンズクラブの活動を体験してみよう！と入会され、その新しいメンバーが紹介してくれるといったかたちで増員につながりました。期の初めに入会間もないメンバーから「35周年はやりましょう」と熊本での西日本区大会への参加がきっかけで、多くのメンバーが参加されているクラブのパワーを強く感じて帰り、「35周年は30名」とエイブルクラブの復活に向けて活動してくれました。メンバーの若返りとなったクラブですが、職種も様々で働き盛り事業主のメンバーも多くなり例会・事業参加への認識をして頂けないのが悩みではあります。しかしメンバー増強にむけて、上期は成果がありました。下期は35周年記念例会を(2025年2月22日)開催する事で新しいメンバーに出席を促しワイズ活動を体験してもらい更なる飛躍の糧になればと思っております。それと例会、役員会、委員会などの内容の充実、会場選定の配慮、各種事業の内容説明、伝達と返信の確認などきめ細かく取り組んでいくと共に次期へつなげていく活動が大切だと感じてます。



主題 **『チャレンジ + α』**

副題 **「Wa」になって行動しよう**

京都グローバルワイズメンズクラブ
会長 **櫻田 真也**

32期グローバルクラブがスタートしてびっくりするくらい早く上半期が過ぎました。「チャレンジ+α」を合い言葉に活動をさせて頂き、またメンバーの皆様も「チャレンジ+α」を様々な場面で使って頂きグローバルクラブに浸透して大変嬉しく思っております。計画した上半期の事業も各委員会でしっかり話し合っており、すべての事業が楽しく、精力的におこなえました。最初の事業であったYサの夏季リトセンワークは今までで一番多くのメンバーが参加し、最高の出だしとなりました。地域奉仕事業では青少年育成事業として元Jリーガーをお呼びしてサッカーアカデミーを盛大に開催することができました。ファンド事業はじゃがいもファンド、ゴルフファンド、毎月ファンドを頑張っており、目標額を上回りそうな勢いで活動して頂いております。EMC事業では残念ながら退会者が様々な事情で増えてしまいましたが、所属しているメンバー一人一人をしっかりと見て頂き、フォローして頂いております。ドライバー事業は今まで委員長経験の無かった委員長が様々な工夫をこらして例会運営をして頂き、また毎回前回の例会の反省点を確認して、より良い例会になるよう頑張っており、広報事業ではページ数が足りないくらい盛りだくさんの原稿と写真を集めて頂き、毎月華やかで素敵なプリテンを作っており、また読みやすいように文字の大きさも少し大きくして頂くというきめ細やかな配慮にも感謝です。最後に交流事業。「京都部全クラブ訪問しよう〜！」で始まった他クラブ様例会訪問事業。私自身企画が大きすぎて少し戸惑いはありましたがチャレンジです。訪問事業を始めて感じたことは本当にどのクラブ様へ参加させて頂いても勉強になりますし、グローバルに持ち帰りたい例会運営方法も多々ありました。また新しい出会いもあり、いつも楽しかったと参加したメンバーは大変満足しております。上半期は三役、各事業委員長、そしてクラブのメンバーに支えられて楽しく活動出来ました。下半期もチャレンジを合い言葉にメンバー一同素敵なクラブになるよう活動していきたいです。そしてグローバル33期へ無事バトンタッチ出来るよう頑張ります。皆様よろしくお願い致します。



主題 **ギスギスしない**

副題 **Be Water, My Friend**

京都トップスワイズメンズクラブ
会長 **巴山 直久**

トップスクラブ会長の巴山直久です。上半期は京都部部会ホスト、ワイズデーの出店対応など、例年のクラブ独自の活動に加えて実施することがあり、あわただしい半期となりました。京都部部会についてはクラブメンバーの協力もあり、一定の役割を果たせたかなと思っております。前半期を終え、主題である「ギスギスしない」はなんとかクリアできたかと思えますが、副題である「Be Water, My Friend」に込めた、クラブメンバーの意識改革のきっかけとなる活動や思いについては、力不足を痛感しております。後半期は、クラブ独自の活動について実施するだけでなく、そこに思いや情熱が伴うように取り組む必要を感じております。特にメンバー増強については京都部全体の勢いから遅れをとってご迷惑をおかけしております。あせらずに地道に活動を継続していこうと考えております。自分自身、初心を忘れずに、良いものは見習う姿勢を大事に、全てのメンバーに感謝の気持ちを忘れずに、残り半期を迎えようと思っております。



主
題

Growing up

副
題

成長し続けよう

京都トゥービーワイズメンズクラブ
会長 松崎 和彦

トゥービークラブの会長に就任して、はや半年が過ぎました。長かったような、短かったような、なんとも言えない感覚です。準備の期間を含めると1年ですから、そう考えると長いですね。今期、なんと言ってもメンバーが増えたのが嬉しいです。上半期に1人入会式を行いました。そして1月第1例会ではもう1人の入会があります。入会は、クラブの魅力が認められた結果です。少なくとも今の時期のクラブのことを気に入ってくれて入会してくれるわけですから、今後もクラブの魅力を発信し続け、さらなる入会者を増やしていきたいです。例会は、いろいろな企画をしました。好評だった例会の一つとして模擬法廷例会があります。大学の模擬法廷を借り切り、「乙姫様は有罪か!」をいい大人が議論するという例会です。実際の裁判の進行通りにしたので、そこも好評でした。グローバルクラブのメンバーにたくさん来ていただき、体験していただいたことは良かったと思います。次に大きな事業としてはワイズデーがあります。当クラブはスマートボールを出し、多くの子供達に遊んでもらいました。大好評でした。後から、「あのスマートボールはどこで買ったのですか?」と質問されましたが、全て1からクラブメンバーが制作したものです。これは大変な自慢であり、我がクラブの宝でもあります。最後に、当クラブはブリテンが自慢でもあります。今期は、時々4コマ漫画を載せています。ワイズあるあるネタ(私の自虐ネタ?)なので、楽しんでください。あと半年、突っ走っていきますので、よろしくをお願いします。



主
題

おかげさまで20年 『温新知故』

副
題

～ 深めあい 助けあい 高めあい 愛いっぱい ウェルクラブ ～

京都ウェルワイズメンズクラブ
会長 松田 博一

今期も早いもので、半分が過ぎてしまいました。皆さんのワイズライフはどのように進んできたでしょうか。ワイズライフというと、仕事や家庭からかけ離れて、好きなことを勝手気ままにやっていると思われがちですが、実はそうではありません。ワーク・ライフ・バランス(働くすべての人々が、『仕事』と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった『仕事以外の生活』との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方)の観点からすると、ワイズライフはとても大切な機会を私たちに与えてくれているのです。ワーク・ライフ・バランスという、仕事との時間比率を考えたり、女性支援の施策と捉えられがちですが、本来は年齢や性別を問わず、働く人すべてに関係する考え方です。どのようなライフステージであっても、家庭や社会貢献などの地域生活と仕事が相乗効果を生み出すことを期待しているのです。この意味で、仕事以外の時間をいかに充実したものとするか、これがワイズライフの命題です。『深めあい・助けあい・高めあい』(親睦・奉仕・自己研鑽)が少しでも私たちの生活を豊かなものとしてくれるに違いないのです。さて、半期を振り返ると、ワークやソラシドキャンプなどのYサ事業、遙学園や洛西寮、動物愛護センターへの支援、チャリティゴルフなどのCS事業、そしてそれらを支えるファンド事業と、皆様のご協力により順調に進んでまいりました。また、日頃の活動の支えとなる、ドライバー委員会や、広報委員会も本当にありがとうございました。皆さん、下半期に向けてもよろしく願いいたします。この後、下半期には、いよいよ迫ってまいりました、20周年記念例会が控えています。上半期、各部・各クラブにアピールをしてまいりましたが、今一度メンバー一同の力を合わせて頑張っていこうではありませんか。できれば、この記念例会で入会式ができればと思っています。EMC委員長様、よろしく願いいたします。「いわゆる『古きを訪ね新しきを知る』という視点からではなく、むしろその逆、新しいものの向こう側にこそ垣間見えてくる先人たちの、技や知恵。」新しいものに挑戦してこそ、ワイズメンズ活動が私たちの財産となると、重ねて訴えたいと思います。



主
題

We are ZERO club !!

副
題

From zero to the future

京都ZEROワイズメンズクラブ
会長 佐藤 善紀

今期でZEROクラブは15期を迎え、2025年8月には15周年記念例会を控えております。今期はその準備年度となり、今期中に記念例会の準備だけでなく、ACTの実施やPRの実施をすることになります。その中で、今期は各委員会に、定量的、定性的な目標ということで2つの目標を掲げていただきました。全委員会、自らが設定した目標の達成に向けて邁進しており、上半期の事業報告においてその充実ぶりがよくわかります。とりわけ、EMC委員会は増員目標4名に対して、既に2名が入会し、3人目の入会が新年例会で控えております。また、ブリテン委員会もここ数年で改革したブリテンの内容が周知してきており、ベストショット賞もクラブ内外で好評いただいております。加えて、当クラブは堂脇CS主査を輩出し、ワイズデーにおいても多大なご協力を賜りました。会長として特に何かができているわけではないのですが、各委員会を中心に、メンバーの皆さまのおかげで充実した上半期を過ごすことができました。下半期もこの流れに乗り、委員会活動を軸にメンバー間の親睦を深めながら、15周年を迎えることができるようワイズ活動を楽しみたいと思います。京都部内のクラブの皆さまにおかれましては、下半期も当クラブの15周年のPRにお邪魔するかと存じますが、温かく迎え入れていただけますと幸いです。



主
題

やってやろう!

副
題

継続と新しい挑戦

北京都フロンティアワイズメンズクラブ
会長 福島 龍治

ワイズメンとしての経験・知識も乏しいまま、今期会長職をさせて頂く事になり、なるようになるやろ! やってやろう!の気持ちからスタートし気が付けば半期終わってました。今まで参加したことが無い、京都市内での各事業会議(参加した数は少ないですが・・・)北の果て舞鶴から京の都に平日に行くのは中々大変ですが、参加させて頂くと部長・各事業主査・他クラブ会長達の御指導も有り楽しくやらせて頂いています。会員数は1名の退会者、1名の入会者となっておりますが、この先新たに素晴らしいメンバーに出逢えると期待しています。その為にはもっと北京都フロンティアの認知度を高め、入会したいと思って頂ける会にメンバー全員で頑張っていきたいです。当クラブの現状一番大きな活動としてYMCA杯学童野球大会の5回目を無事に11月末より2日間に渡り開催し、今大会も記憶に残る素晴らしいプレー・声援を我々にも与えて頂きました。来年度は当クラブ10周年を迎えます。コロナ過にて5周年をする事が出来ず初めての大きなイベントをする事となり、本当に手探りの中ですが自分たちのキャパの中で出来る事をしようとメンバー内で話し合い2026年4月4日(土)会場は舞鶴ホテルベルマーレで10周年記念例会を開催する事が決定しました。周年事業・記念例会内容をメンバー内で日々少しずつですが話し合ってる状況です。下半期もメンバーと共にワイズメンらしく頑張っていきたいと思います。



主
題

一意専心

副
題

徹底して親睦を深め、
積極的に参画する

京都ブラックワイズメンズクラブ
会長 森 大哲

ブラッククラブは今期で第三期、初代から引き継ぎ二代目の会長をさせていただいております。今期は、メンバー全員が積極的に例会やワークに参画することで親睦を深め、心の拠り所となるようなクラブの基礎を構築することを活動方針として参りました。ブラッククラブのメインイベントである地藏盆イベントでは、京都市役所前の広場で約 600 名以上の方にお越しいただき、盛大に開催することができました。少ない人数での開催でしたが、大学生ボランティアの皆様にもご協力いただき、無事成功させることができたことはクラブの実績とクラブメンバーの自信に繋がったのではないかと考えております。現在のクラブの課題は、メンバーの増員です。一時的に人数が減りましたが、現在の EMC 委員長の献身的な活動により、素晴らしいメンバーが続々入会してくださっています。20 名を目標に、引き続き活動して参ります。また、今期は他のクラブとの交流を積極的に行っております。他のクラブの例会に参加させていただき情報交換を行ったことで、自クラブの運営を変革していくきっかけになりました。現在もまだ試行錯誤を続けておりますが、時代にあわせて柔軟に、何よりもメンバー全員が積極的に楽しめることを第一義として、志を同じくした仲間と会えるクラブ作りを進めて参りたいと思っております。

第29期 京都部 photography



京都部
Y'S DAY
2024

京都部
国際・交流
ファンド懇談会



主
題

ワイズの活動を楽しむ！

副
題

Reestablish Y's Ties
～ワイズの絆の再構築～

沖縄ワイズメンズクラブ
会長 手登根 正

新年あけましておめでとうございます。2024 年も過ぎ去り 2025 年を迎え、皆様の益々のご活躍を御祈念申し上げます。さて、沖縄では、一足早く『さくら』(ソメイヨシノではなく八重桜という種類ですが…)の季節を迎える季節となり、旧正月を過ぎますと瞬く間に春の季節を迎えます。その中で、2024-25 年上期が終わり、過ぎた半年を振り返りますと、期初に掲げました 2024-25 年度の抱負といたしましては次の三本柱を進めることを掲げておりました。

1. 再開したワイズメンズクラブの活動を加速させる
2. 沖縄 Y M C A との連携再構築を継続する
3. ワイズの活動を楽しみなが地域に仕える

この中では、沖縄 Y M C A との連携再構築に注力を行い、YMCA サマーキャンプなどに沖縄新風クラブと共に参加することができ、少しではありますが関係の再構築を果たすことができたと考えております。残り半年、次の目標といたしましては、再開したワイズメンズクラブの活動を加速させるために、何よりも会員増強に注力をしてまいります。会員を増やすことでクラブの基礎力を高めて、経済基盤を磐石なものとして、ワイズの活動を楽しみなが地域に仕えることをしたいと考えております。2024-25 年度の下期もよろしくお願い致します。



主
題

沖縄からワイズの新しい風を！

副
題

ワイズの魅力を発見し伝えていく

沖縄新風ワイズメンズクラブ
会長 金武 朝成

もう、会長二期目の 2024 の期も半分を過ぎてしまいました。今期は、念願でした沖縄 YMCA との関係も次第に構築できており、夏のキャンプへの支援参加もすることができました。EMC に関しては、今回も目標に達せず、会員増強はならずという結果となりました。活動に関しても、大きな進展が見られず、早くも停滞気味という状況です。今一度、意義を問い直して、声をかけることから始めて行くことを、クラブ員とともに行っていきたいと思います。

第29期 京都部 上半期 photography

